1822 武道施設•用具論

授業科目名	武道施設・用具論				3
担当教員				配当開始年次 単位数	2
授業概要	授業計	画 (テーマ)		, , =====	
公共スポーツ施設としての武道館の社会的役割、指定管理者制度についての基礎的理解を促すとともに、スポーツ産業としての武道用具用品の製造・流通・販売等の現状と将来について展望する授業とする。 武道施設・武道用具等について知り、施設・用具の史的変遷と現状、そして、運営・管理について理解を深め、また、将来のあり方について考える授業を展開する。 ・施設・用具の構造・機能について理解できる。 ・施設・用具の史的変遷と現状を把握できる。 ・施設・用具の史的変遷と現状を把握できる。 ・施設・用具に関連して、その将来を展望することができる。	1. 武道本 2. 日 章 3. 日 章 5. 全 日 並 道 8. 武 重 武 進 9. 国 武 生 武 11. 生 武 12. 中 13.	道界の歴史・現状 本武道館の歴史・現 式道の定義・理 本武道協議会 国都道府県立武道 本古武道協会 道の3要素「指導者 道館・武道場 深武道大学 道の特性	祖織・事業 」 館 香・用具・施設		
	15. 武道の普及振興				
受講・学習上のアドバイス	評価方法				
・種目により異なりますが、施設・用具と技法は深い関係にあるので関連付けて考えま		平価項目	割合	評価基準等	
しょう。 ・将来を展望するには柔軟な発想と現状把握が必要です。 事前学習(2h)・事後学習(2h)	試験		%		
	レポー	 	50%	授業の理解度を評価する	
			50%	授業への出席や学習意欲を評価する	
教科書(書名、著者、出版社、ISBNコード、備考)特になし		参考書(書名特になし	1、著者、出	版社、ISBNコード、備考)	
その他 ティームティーチング方式で授業を実施する。					